

平成24年度技術士第二次試験問題〔水産部門〕

選択科目【14-1】漁業及び増養殖

1時30分～5時

I 次の2問題（I-1、I-2）について解答せよ。（問題ごとに答案用紙を替えること。）

I-1 我が国の漁業及び増養殖において、現在、必要とされている技術課題を答案用紙1枚に述べよ。さらに、その技術課題の解決策を漁業、増養殖について、各々1枚ずつ論述せよ。（問題番号を明記し、答案用紙3枚以内にまとめよ。）

I-2 次の5設問のうち3設問を選んで解答せよ。（設問ごとに答案用紙を替えて解答設問番号を明記し、それぞれ1枚以内にまとめよ。）

I-2-1 海水魚の給餌養殖の生産方式である網生簀養殖（小割式養殖）を設置する上での選定条件を記せ。さらに、網生簀養殖における環境汚染の軽減策を3つ以上述べよ。

I-2-2 磯焼けの原因は種々挙げられているが、そのうちウニ類の摂餌量減少による磯焼け修復技術に関する取組内容について述べよ。

I-2-3 水産業・漁村の役割には本来の機能である水産物の安定供給だけでなく、多面的な機能のあることが知られている。その多面的機能について3つ以上提示し、具体的な例を2つ挙げて取組の現状を述べよ。

I-2-4 TAC制度で指定されている第一種特定海洋生物資源の名称を示し、基本計画の策定から始まる管理方法の全体的な流れを述べよ。

I-2-5 2010年夏（6～8月）の平均気温は、気象庁が地域平均の統計を開始した1946年以降、北・東日本で1位、西日本で4位の高い記録となった。海にも海水温の変動などによるとみられる影響があった。この影響について知っている事柄と内容を述べよ。